

## I. 湿重量の算定根拠

対象藻場にて目視観察調査実施時に調査範囲内の 24 か所で坪刈（50cm×50cm コドラート内）を実施し、採取した海藻を種類別（北方性コンブ、南方性コンブ、ワカメ、紅藻、緑藻、スガモ）に分類し、湿重量を計測した（表 1）。高度 80m からドローン画像を撮影しているため、解像度が高い画像を用いて画像解析を行っていること、画像解析により抽出した面積に海藻種毎の被度を掛けていることから、算出した実勢面積には 100%の被度で海藻が繁茂していると考えられる。そこで、同じ場所で実施した目視観察（海藻種毎の被度調査）の結果から、被度 100%の場合の 1ha あたりの湿重量を計算した。さらに、その結果から海藻種毎に 1ha 当たりの平均湿重量を求めた。

表 1. 海藻種毎の単位面積当たりの湿重量

海藻種	湿重量/被度	②16m地点	③28m地点	④54m地点	平均	単位換算【t/ha】
ワカメ	湿重量【g/0.25m2】	1470	220		1285	51.417
	被度	80%	30%			
	被度100%の場合の湿重量【g/0.25m2】	1838	733			
スガモ	湿重量【g/0.25m2】			920	2044	81.778
	被度			45%		
	被度100%の場合の湿重量【g/0.25m2】			2044		

## II. 含水率と炭素含有率の算定根拠

鹿部町内の海域で坪狩りを行い入手した海藻を海藻種毎に分けて、ランダムに複数枚選別し、1枚ずつ乾燥し、含水率の平均値を求めた（表 2）。さらに、乾燥した上記海藻を用いて、炭素含有量を測定し、平均値を求めた（表 3）。

表 2. 海藻種毎の含水率

海藻種	1			2			3			平均水分率
	湿重量【g】	乾燥重量【g】	水分率	湿重量【g】	乾燥重量【g】	水分率	湿重量【g】	乾燥重量【g】	水分率	
ワカメ	324.8	34.6087	89.345%	388.5	42.4727	89.068%	136.1	16.9503	87.546%	88.653%
その他	79.8446	23.7989	70.193%	174.1	17.8007	89.776%	118.0958	32.5101	72.471%	77.480%

表 3. 海藻種毎の炭素含有率

海藻種	炭素含有量			平均炭素含有率
	1	2	3	
ワカメ	30.461%	28.928%	22.367%	27.252%
その他	21.422%	19.608%	25.923%	22.318%